

平成20年度 第2回鎌ヶ谷総合病院運営協議会会議録

1. 日 時 平成20年12月24日(水) 午後2時から2時50分

2. 場 所 総合福祉保健センター4階会議室

3. 出席者

(1) 委員

出席委員：鈴木弘祐委員、古池輝久委員、小林数夫委員、谷間保彦委員、
吉村和久委員、辰巳澄夫委員、尾崎行代委員、前田清貴委員
今井範之委員

(2) 事務局

木下会側：日高みえ子看護部長、伊藤幸雄総務課長

市 側：岩佐健康増進課長、木暮課長補佐、野崎主査、関主査補

4. 議 題

(1) 会議録署名人の選任

(2) 基本協定事項の進捗状況について

(3) 鎌ヶ谷総合病院の状況について

(4) 次回会議日程について

(5) その他

5. 会議内容

(事務局)： 本日は年末のお忙しい中、鎌ヶ谷総合病院運営協議会にご参集いただきまして、誠にありがとうございます。私は、本日の司会進行を務めさせていただきます、医療法人社団木下会の伊藤と申します。本日は、近藤委員と渋谷委員が欠席で傍聴予定者が2名です。よろしくお願いいたします。

ただいまより、平成20年度第2回鎌ヶ谷総合病院運営協議会を開催いたします。本日の会議資料は会議次第、委員名簿、基本協定事項の進捗状況について、鎌ヶ谷総合病院の状況の以上4点となっております。確認をお願いします。

それでは、これ以降の議題につきましては、前田会長に議事進行をお願いいたします。

(1) 会議録署名人の選任

(前田会長)： 年末のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

始めに、会議録署名人の選任につきましては、事務局に一任してよろしいでしょうか。

(異議なし)

(事務局): 尾崎委員と今井委員にお願いしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

(前田会長): 尾崎委員、今井委員よろしくお願ひします。

(2) 基本協定事項の進捗状況について

(前田会長): はじめに、基本協定事項の進捗状況について、今井委員に説明をお願いいたします。

(今井委員): (資料別紙2の説明) 4ページありますが、1、2については履行済みであり、割愛させていただきます。

はじめに、18診療科目の開設についてですが、現在、心臓血管外科は本年4月より週1回の外来予約診療を行っておりますが、手術や入院については21年4月予定で準備を進めております。また、耳鼻咽喉科についても21年4月の開設予定で準備を進めております。

次に、医療機能として24時間対応の可能な小児救急を始めとする2.5次救急医療体制について開設が遅れていることについては、21年1月より12時から17時まで小児診療は時間外診療になりますが、開始していきたいと思っております。

また、夜間休日の救急体制については、週1回行っておりますが、これを拡大することは小児科医の確保が非常に困難な状況であり、もう少し時間的猶予をいただけたらと思ひます。

なお、心臓血管外科については、3次救急と同等の体制を21年4月開設予定で考えております。

次に、医師会の加入につきましては、昨年8月に入会申請を提出させていただいておりますが、加入の前段階のヒヤリングがまだ行われていない現状です。医師会にお願ひし、早期に加入していただけるよう努力して行きたいと思ひます。

(前田会長): ご質問はありますか。

(谷間委員): 産婦人科について伺ひます。

(今井委員): 産婦人科は外来だけ行っております。

(谷間委員): 出産の場合はどうなりますか。

(今井委員): 千葉西病院でバックアップしてやっただいております。

(谷間委員): 小児科医について、前回の会議では4、5人不足しており、夜間対応ができないと話がありましたが、今どれ位カバーできたのでしょうか。

(前田会長): 私のほうからお答えしますが、若い先生が小児科医にならない厳しい状況です。新たな人材を発掘しておりますが4月人事で動く先生もいますので、全国に声を掛けながら努力しております。

(谷間委員)：市民が心配しているのは、鎌ヶ谷総合病院ができ、365日対応の救急体制ができたという話のなかでスタートした。

しかし、1年と少しになりますが現状においてまだ体制が整っておりません。日本全体の問題でもありますが、ぜひ積極的に努力していただきたくお願いいたします。

(吉村委員)：12月定例議会において、当病院に関する一般質問が大きく分けて3点ありました。

1点目は、救急患者の病院への搬送体制ですが、病院の開設式典のとき、全ての救急搬送は受け入れるとのごあいさつがりましたが、現実問題としては、若干の受け入れできないという事例もあり、約束を履行していただきたいということです。

2点目は、診療科目、運営等の問題点ですが、まず、基本協定事項を守っていただきたい。それと市民からの苦情ですが資料の9ページにもありますが、件数的に多いのは待ち時間が長いなどがあり、これらの改善をしていただきたい。

3点目として市内「かかりつけ医」との連携についてでした。

これらは議会、市民が注目されている事柄だと思います。特に1点目の救急搬送については、最後の砦の病院でございますので、ベッド数の関係や手術中というお話は聞きましたが、受け入れ体制をぜひお願いいたします。

それと、24時間対応の小児救急は基本協定の8条に記載されておりますので、医師の確保について前田会長が4月の人事異動を狙っているというお話がりましたが、日本全国徳州会の病院があるわけで、ぜひ実行していただきたいと思います。

鎌ヶ谷市として再三お願いしている訳ですが、基本協定の第15条の規定に、基本協定事項の履行確保の方策として、鎌ヶ谷市は指導することができるので、当会議を持って正式にご指導申し上げたいと思います。

(今井委員)：1点目の救急搬送については調査したところ、何件か手術中であるとか、何台も救急が重なっていたことで回答に時間がかかり、その間救急隊より新たな病院が見つかったとの報告を聞いております。

基本的に開院当初の一切断らないという姿勢は、当病院では統一してやらせていただいておりますが、毎月350から400台の救急があり、スタッフと意思疎通ができていなかった部分もあり、断らないという姿勢で改善していきます。

次に、待ち時間については、オープン当初21名の医師でスタートし、クレームも多々いただきましたが、現在では、常勤医が38名となり、苦情等も減ってきております。

分母が非常に大きい整形外科、内科に関しては医師が複数で診療を行っても、連休明けなどには1診療科に200人程度の患者さんが来るようになってしまうと、どうしても待っていただかざるを得ない部分もあります。

初診も、まだかなりの率で来ておりますので、一人当たりに係る時間も通常よりも掛っております。

それと、一番多かった苦情の心療内科の待ち時間ですが、診療の性質上、予約制を取っておりますが、時間を要しております。

医師と相談をして改善していきたいと思っております。

小児救急につきましては、市から再三のご指摘を受けておりますが、今回診療時間を広げることを一つのステップとお考えいただいて、他の公的医療機関が小児科を閉めているなかで、いかに小児科医を呼んで来るか徳州会全体として考えてほしいとの市のご指摘も合わせて、対策事項として考えて行きたいと思っております。

(辰巳委員)： およその待ち時間をお知らせ願うと時間を潰せると思うが、何か手段はないのでしょうか。

(事務局)： 対策として内科系、外科系の待合には30分、1時間待ち等貼紙をしています。他については患者さんの姿が見えますので看護師が対応しています。

(辰巳委員)： 3時間待ちなどはどのような時に起きるのですか。

(事務局)： 初診の場合です。先生によっては、予約した患者さんの間にカルテを入れて診察を行っていますが、たまたま最後に入れる先生もいます。

(辰巳委員)： ルールを作れないのですか。

(今井委員)： 患者さんによって診療時間が変わってきます。

(辰巳委員)： 30分単位のおよその時間でいいですからガイダンスをいただきたい。

(尾崎委員)： どこの病院でも大きくなればなるほど待ち時間は長く、ほかの病院はどのように対応しているか分かりませんが、当病院だけが対応していない訳ではないと思っております。

(辰巳委員)： 他にもそうか知れませんが、患者さんの立場から何か良くする方策はないかということです。

(尾崎委員)： 東大病院ではポケットベルを持たせ、科ごとに順番等の連絡が入るので聞こえる範囲で外に出ているとよいので、このようなことも考えられる。

(事務局)： ご指摘いただきましたように、これで良いというわけではありません。対策についてグループの中でも待ち時間が長いところで議論がされておりますが、良い結果が見えてこない状況です。今後お互いに検討して改善していきたいと思っております。

(辰巳委員)： 待たされる覚悟で来ていますが、どの位待つのが不安なので、時間の予告制度をアバウトで良いので改善してもらいたい。

(古池委員)： 船橋医療センターには何時間待ちというのは出ています。それで安心出来

るのかもしれませんが。

この間、NHKで医療改革という問題を長時間やっていましたが、当病院だけの問題ではなく基本的に良い医療をしたい。ましてこういう時代ですから何かあってはいけない。患者さん一人一人に丁寧になります。

一方で、患者さんが沢山待っていてそちらに気を取られていると治療が疎かになってしまいます。NHKで小児科医が何人とか言っていました、基本的にはそこまで行かなければ解決できない事だと思います。

鎌ヶ谷総合病院の進捗状況が必ずしも守られていないとのことですが、当初のときに期待を持たせるというか、その辺でおっしゃったのではないかと思います。今の話でも必ずしもやれと言っているわけではなく、早くしていただきたいということで、鎌ヶ谷総合病院でも患者の方に実態はこうであると言う事が必要であると思います。

決して患者さん自体も、これだけ医療制度がマスコミに取り上げられ、皆さんも身近な問題として捕らえていますので、当病院の方でもPRして周知していただければと思います。

(谷間委員)： 医師会の問題をもう少しお伺いします。私も、かかりつけの病院で診療していただいているのですが、総合病院との関係はどのようになっていますか。

(前田会長)： 医師会との関係は、個別にいろいろな先生と患者さんを通じて活発になり、入院患者も増えて、徐々に交流も深まってきております。

勉強会も色々な専門の先生を呼んで、当院の会議室で開催し、多くの先生方が出入りするようになりました。

医師会の加入については申請を出しましたので、最終的にヒヤリングをさせていただき返事を待つ状況です。

(鈴木副会長)： 基本的な方針としては、規模の大きい立派な目標を立ておりますので、それを全部そのとおり実行していくのは難しい点があると思います。

ただ、先ほどから出ていますが新聞等で大きく公表されているということで、最初からはっきり申しまして疑問を持っていたのですが、こんなことが今の時代に出来るのかと皆さん囁いているというか、会合の時にそういう話題がよく出ました。

そこで、それらが本当に出来るのか静観して、進捗状況を見ながら、本当に「かかりつけ医」との連携が可能な状況になるのかどうか見ている、というのが現状です。

大病院志向ということで、市民はじめ、周辺の市から患者さんが来ているようですが、早急に体制が100パーセント整うわけではないので、言い難いことですが診療にも科によってむらがあるといいますが、患者さんも待ち時間が長いけれど、それがどういう状況になって、直るのか直らないのか分からないという話をしていました。

もう少し、きめ細かな診療をしていただいた方がいいのかな、ということもあり、他もそうですが医師不足が非常に問題になっており、ますますそういうことを考えれば、「かかりつけ医」との連携システムを作って、より良い形で市民を守りたいと感じておりますが、病院が出来る前からの双方の考え方が原因となっていると思います。

また、そういうことは全然かわりがないという人も結構おりますし、医療がどのように変わっていくか見ているところですが、双方にとっていい形を模索していくより、しょうがないと思っています。

非常に専門性の高い部分も沢山お持ちのようですし、医師不足のなか苦心している科もあり、そのような所を出来るだけ早く進めていただいて、お互いの信頼回復が出来るのを待ちたいと思います。

(谷間委員): 「かかりつけ医」システムの連携をうまくしていただき、病院と医師会だけではなく市民のことを考えていただきたいと思います。

(辰巳委員): 総合病院が医師会に入ると、どういう点が変わって、どういうことができるのか。それと、1年経ってまだ入れない本当の理由が、ご説明を聞きましたがよく分からなかったのですが、もう少し市民が分かりやすい説明がないのでしょうか。

(前田会長): 医師会に入りますと、病診連携を図るため医師会の会合にも常時出ますので何かにつけ問題を一緒に相談できるメリットがあります。

我々も積極的にアプローチを掛けて、また、交流を深め信頼関係を作ることが一番大事なので、早急に入れるよう努力してまいりたいと思います。

(辰巳委員): 入れない理由はということなのでしょうか。

(鈴木副会長): 90人近い医師がいる中で、それぞれの意見がございます。

公設民営の病院というようなことが水面下で進められて、我々実際に携わっている者の意思を十分に問わないいうえに出来てしまったことに対して、大きな疑問を感じていると、はっきりいえばそう言うことでございます。

これは全国的にも起きていることでございまして、ここだけの医師会に限られたことではございません。これは、そんなにスムーズに進む問題ではないということをご理解いただきたいと思っております。

それと、大病院志向ということ自体問題がありまして、大きい病院でありさえすれば安心だと言うのは幻想だと思っております。科によっては絶対ここに頼んだほうが良いというのは勿論でございます。

一方で、沢山あそこばかりに行くのだろうと疑問を持っている先生もいます。そういう科を出来るだけレベル高く、しかも、平準化していったこそ、大病院として出来ることではないかと思っております。

例えば、比較的我々から見れば、そんなに大きな疾患ではないと思っている疾患に対する検査の量とかフォローアップの仕方、MRIですと毎月フ

オーアアップしているとか検査の範囲が非常に広範に亘っています。

「かかりつけ医」の方に患者さんが検査結果を持って来たり話をしたりして、なぜ、第1次の診療でこれだけ多くの検査をしなければならないのかという疑問点があります。

患者さんは多くの検査をして何とも無かったことを喜ぶのですが、鎌ヶ谷市の財政事情とかを考えた時に、そこまでやるのが今の医療体制のなかで正しいことなのか、医師会としては医療経済ということを常に情報として入ってくるし、県全体と討議し合っているのもそういうことが表面に出てきます。そこに反撥も出てくることも確かです。

はっきり言ってしまいましたが、そんなことも根底にあるということをご理解いただきたいと思います。

(前田会長)： 解決にはいろんな意味で交流を深めて行きたいと思います。

(谷間委員)： 市民優先でお願いします。

(前田会長)： いろいろな問題点を指摘して、我々も積極的に対応していくということで状況が好転次第ご報告できると思いますので、よろしく願いいたします。

医師の方も待ち時間について、まだブースを空けていない所もありますし、内科の先生も増え4月からは後期研修の先生も入ってきます。初期研修の若い先生も招き入れて大学の講師、准教授クラスのいい人材が4月から来ると確信しております。

(3) 鎌ヶ谷総合病院の状況について

(前田会長)： 鎌ヶ谷総合病院の状況について今井委員、報告願います。

(今井委員)： 現在、外来患者数は600～700名、休日を含めると1日平均450名位の患者数となります。

入院の方は、7月1日より248床全てを稼働させております。今現在ベッドの稼働率は95%以上という結果です。

救急については、毎月350件以上の救急搬送が行われております。内訳は、鎌ヶ谷市38%、船橋市20%、市川市13%、印西市17%等であります。そのなかで特筆すべき点として、夜間、休日の救急搬送多いということです。

船橋、市川という大きな病院が有りながら当病院に向かってくる現状です。特に浦安市川市民病院が譲渡され、建替えをすることで、今回20床まで減少するという報告を受けております。

ますます、当院の搬送も増えて来ると思います。先ほど、ご指摘もございましたが、出来るだけ救急を断らず進めて行きたいと思います。

それと、もう一点病院に寄せられた意見のところでも補足させていただきます。先ほど待ち時間が長いとの苦情がありましたが、当院では患者さんの声

を毎日書いていただき、週に一度、検討対応を考えて履行しているところです。そのなかで待ち時間については、徐々に苦情もが少なくなっている現状です。

スタッフに対しての苦情もまだ教育が行き届いていない所も有ると思いますが、各リーダーを集めて教育を進めて行こうと思っております。

(前田会長): ご質問はございますか。

(小林委員): 患者さんから希望があった場合、院外処方箋を出す体制になっていますか。

(今井委員): 11月から院外処方をするということでスタートしておりますが、今現在、医療給付の部分がありまして、神経難病、膠原病に関しては逆に院外で出している状況です。

それ以外では、希望される患者さんについて、院外処方を出すスタイルで行っておりますが、希望は少ないようです。11月で2~3枚と聞いておりますが、今月もそれ位と思っております。

(前田会長): これから来年4月に向けて、耳鼻科、小児科、心臓血管外科、産科の病床を増やして行かなければならないのですが、今は満床に近い状況でオーバーナイトといいまして、救急室の隣で入院させたい患者を一晩過ごしてもらうことも多々あります。

県の方に増床の要請も行っております。更に市民のためにそれぞれの科を充足させるよう対策を進めておりますが、ベッドが無いことにはうまくいかないことがありますので、委員の皆様のご協力をお願いいたします。

病床を確保できないと良い医療が出来ないのですが、増床をなかなか県に認めてもらえない中で、鎌ヶ谷市民だけではなく船橋、市川からも救急車が殺到してきている現状です。それを叶えて行くのが我々の仕事だと思っておりますので、ご理解をお願いいたします。

(4) 次回会議日程について

(前田会長): 次回会議日程についてですが、今回は半年後の6月に開催してよろしいでしょうか。ご意見が無ければそのようにさせていただきます。以上で本日の議題は終了いたします。

その他ということで事務局お願いいたします。

(事務局): 鎌ヶ谷総合病院運営協議会委員の任期が平成18年12月26日から20年12月25日までとなっております。本日の会議が最終となり、皆様の2年間の任期が満了することになりますので、ご報告させていただきます。

(前田会長): 本日の会議を持ちまして皆様の任期満了となります。せっかくの機会ですので委員の皆様からご意見をいただければと思います。

(辰巳委員): 今朝も友達と話したのですが、非常に喜んでおります。設備が新しい、検査が早い、一般的には上場の出足だと思っております。不足の点もあると思っております。

で、これからもよろしく願いいたします。

(尾崎委員)： 10月に病院から健康祭のお便りをいただきまして、大変いいことだと思
いましたのでご近所に配りました。3日前に来ましたので、当日私は予定が
ありましたので失礼させていただきましたが、こういう事は良いことなので
もっと早くいただければお伺い出来たと思います。

(今井委員)： 今回が初回で連絡が遅れて申し訳ございませんでした。今後も、今年と同
時期に行って行きたいと考えております。来年からは早い時期にご案内した
いと思います。

(前田会長) 以上を持ちまして平成20年度第2回鎌ヶ谷総合病院運営協議会を終了いた
します。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証し署名する。

平成21年 1月27日

署名人 尾崎 行代

署名人 今井 範之